

4. ニッケルの国際市況と需給動向（2006年3月）

希少金属備蓄グループ

1. ニッケルの国際価格は、世界的なステンレス鋼ミルの減産などから2005年夏場より軟調推移し、10月末には12,000 \$ 割れとなったが、11月中旬より投機資金流入などから回復し、12月中旬には14,000 \$ 台をつけた。2006年に入っても上昇傾向をたどり、1月下旬には15,000 \$ 台をつけ、その後も高値で推移し、3月末日現在15,340 \$。
2. 2006年1月の需給バランスは、3.1千tの供給過剰。LME在庫は2006年2月よりやや減少傾向となり、3月末時点で32,100t。
3. 国際ニッケル研究会によると、2006年のニッケル生産は135.5万t、ニッケル消費は133.7万tで、需給バランスは約1.8万tの供給過剰との予測。ニッケル国際価格については、今後はステンレス需要の回復が見込まれ、実需を伴い強含みで推移するとの見方が強い。

1. 国際価格

ニッケルの国際価格は、世界的なステンレス鋼ミルの減産などから2005年夏場より軟調推移し、10月には2004年5月以来の12,000 \$ 割れへと続落したが、11月中旬より投機資金流入などから回復、12月中旬には14,000 \$ 台をつけた。2006年は13,000 \$ 台からスタートし上昇傾向をたどり、1月下旬には昨年9月以来の15,000ドル台をつけ、その後も高値で推移し、3月末日現在15,340 \$。

ニッケル国際価格は、2005年2月後半に16,000 \$ 台をつけ、6月中旬まで16,000 \$ 台中盤で堅調推移したが、世界的なステンレス鋼の供給過剰懸念が嫌気されたことから大幅下落し、同月下旬には14,955 \$ と2005年2月以来の15,000 \$ 割れへと続落した。その後も、欧州、韓国、国内のステンレス鋼ミルの相次ぐ減産なども影響し14,000 \$ 台が続き、7、8月も14,000 ~ 15,000 \$ 台で推移。9月にはインコ社の労使交渉妥結などを受け、昨年12月以来の14,000 \$ 割れとなり、ステンレスメーカーの減産継続や一部投機資金の引上げなどの影響もありさらに下落し、10月21日には昨年

5月以来の12,000 \$ 割れとなった。しかし、非鉄金属全般への投機資金流入などから11月中旬より回復し、同月下旬には一時13,000 \$ 台をつけ、その後も上昇傾向。12月中旬には一時14,000 \$ 台となり、一時投機資金の利食いで軟化したものの、13,000 \$ 台中盤を維持。2006年は13,000 \$ 台からスタートしたが、1月5日に14,000 \$ 台をつけ、その後も上昇傾向をたどり、同月下旬には2005年9月以来の15,000 \$ 台となった。2月から3月は14,000 \$ 台後半から15,000 \$ 台で推移し、3月末日現在15,340 \$ となっている（図4-1）。



ニッケル	2005年									2006年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
LME在庫 (t)	6,240	8,064	7,032	7,110	9,258	13,488	18,420	23,964	36,042	37,152	34,728	32,100
平均価格 (US\$/t)	16,142	16,932	16,160	14,581	14,893	14,228	12,403	12,116	13,429	14,555	14,979	14,897

出典：国際ニッケル研究会

図4-1 ニッケル価格と在庫の推移

2. 需給(2006年1月)

2006年1月の鉱石生産は10.0% (10.7千t)の増。一次地金生産は1.6% (1.8千t)の増。消費は2.5% (2.8千t)の減。

2006年1月の需給バランスは、3.1千tの供給過剰。

LME在庫は2005年8月より増加し、2006年1月まで増加傾向だったが、2月よりやや減少し、3月末時点で32,100t。

2006年1月のニッケル鉱石生産は117.8千tで、前年同期比で10.0% (10.7千t)の増となった。最大生産国のロシアは2.2% (0.5千t)の増、第2位カナダは32.5% (4.9千t)の大幅増、第4位のインドネシアは14.0% (1.6千t)の増となり、第3位豪州の9.1% (1.6千t)の減、第5位コロンビアの7.8% (0.6千t)の減を補った。2006年1月の一次ニッケル地金生産は111.3千tで、対前年比1.6% (1.8千t)の増となった。最大生産国ロシアは0.9% (0.2千t)の微増、第3位カナダは17.1% (1.9千t)の増、第4位豪州は1.9% (0.2千t)の微増、第5位中国は13.3% (1.0千t)の増となったが、第2位の日本は8.8% (1.3千t)の減であった。2006年1月のニッケル消費は108.2千tで、前年比2.5% (2.8千t)の減となった。2005年中盤に日本を抜いて消費量第

1位となった中国は9.7% (1.5千t)の増、第3位の米国は3.5% (0.4千t)の増であったが、第2位日本は14.8% (2.6千t)の大幅減、第4位ドイツは3.5% (0.3千t)の減、第5位韓国は1.1% (1.0千t)の減であった。

2006年1月の需給バランスは、3.1千tの供給過剰となっている。

ニッケルの金属取引所の在庫は、2005年に入り減少傾向に転じ、5月中旬には5,000tを割り込み1991年以来の低水準となったが、2005年8月より増加傾向となり、9月上旬には約半年ぶりに10,000tを超え、11月中旬には2005年1月以来の20,000tを超え、12月中旬には30,000t台となった。2006年に入っても36,000t台が続いたが、2月中旬よりやや減少傾向となり、3末日時点で32,100tとなっている(表4-1、4-2)。

表4-1 ニッケルの需給状況

単位：千t (Ni純分)

ニッケル	2005年													2006年	前年 同期比 (%)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月計	1月	
鉱山生産量	107.1	108.6	117.1	111.7	111.6	118.7	110.5	111.3	117.7	117.5	116.6	115.0	1,363.5	117.8	10.0
一次地金生産量	109.5	104.7	111.2	106.1	111.1	102.3	102.7	106.5	103.8	106.0	105.8	111.8	1,281.5	111.3	1.6
消費量	111.0	105.6	106.8	105.9	107.6	102.0	95.0	91.8	98.9	102.1	102.3	102.7	1,231.8	108.2	-2.5
需給バランス	-1.5	-0.9	4.4	0.2	3.5	0.3	7.7	14.7	4.9	3.9	3.5	9.1	49.7	3.1	

出典：国際ニッケル研究会

表4-2 LME在庫の変遷(2005年3月~2006年2月)

単位：t

国名	2005年										2006年	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ベルギー	-	-	-	-	-	-	-	12	12	60	60	180
ドイツ	6	-	-	-	-	-	-	-	1,500	6,156	6,336	6,090
イタリア	42	42	120	120	90	90	30	30	30	54	78	42
韓国	-	-	348	288	252	186	6	288	270	252	1,146	444
オランダ	3,780	1,518	5,196	4,638	5,130	4,014	8,952	8,508	6,408	11,064	11,508	11,574
シンガポール	804	336	6	72	144	906	402	366	636	3,114	3,312	3,378
スウェーデン	1,434	1,188	984	792	510	3,054	2,850	4,548	5,094	5,424	4,986	4,308
英国	3,870	2,940	1,410	1,122	984	1,008	1,248	5,106	10,014	9,918	9,726	8,712
合計	9,936	6,024	8,064	7,032	7,110	9,258	13,488	18,858	23,964	36,042	37,152	34,728

出典：国際ニッケル研究会

今後の見通し

国際ニッケル研究会によると、2006年の一次ニッケル地金生産は、カナダ、インドネシア等での増産を見込み前年比で4.6%増の135.5万t、ニッケル消費は、中国、ロシア等の消費拡大を見込み6.3%増の133.7万tで、需給バランスは約1.8万tの供給過剰としており、2005年に続き過剰バランスながら、需給はやや引き締まると予測している。

業界紙、メディア等によると、ニッケルの需

給ファンダメンタルズには未だ大きな変化は見られないが、2006年中盤からはステンレス需要が本格的に回復するとの見方が強く、米国、欧州では回復の兆しが見られる。

現在、ニッケル価格は投機筋の動きにより高値で推移している。今後はステンレス需要が次第に回復することが見込まれ、また、長らく続いた在庫の増加傾向が減少傾向へと転じていることなどから、今後のニッケル価格は、実需を伴い強含みで推移するとの見方が強い。